

全国一律最低賃金と「時間額 1500 円」の実現をもとめて、大分県労連は県内選出の自民党国会議員との懇談を行いました。懇談できた議員は、全労連・大分県労連の最低賃金大幅引き上げの主張に賛同され、方向性においては一致していましたが、そして今後実現に向けて共に頑張ることを確認しました。

8月22日衛藤征士郎議員と懇談、衛藤議員は「自民党最低賃金一元化推進議員連盟」の会長も歴任されており、最低賃金引き上げの取り組みに奮闘されています。衛藤議員は「最低賃金は社会保障ではなく、今や経済政策です。コロナ禍でもイギリスで6%引き上げられました。日本の最低賃金は先進国において著しく劣にある」、そして「地方創生の起点、原点は最低賃金と考える」と述べていました。衛藤議員から労働組合への期待をのべられるなど、最低賃金引き上げにむけ和やかに懇談することができました。その他、岩屋毅議員、穴見陽一議員（地元事務局長）とも同様の懇談を行いました

